



2010年7月21日

各位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号：9424)
問合せ先 代表取締役専務 COO 福田 尚久
電話 03-5767-9100 (代表)

日本通信、大手投資会社との協業により、MVNO ベンチャー支援を強化

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、グローバルに投資活動を展開する VC（ベンチャーキャピタル）部門を有する投資会社のアント・キャピタル・パートナーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：尾崎一法、以下、「アント・キャピタル」という）と、MVNO ベンチャー支援において協業することとなりましたので、お知らせいたします。

日本通信は、1996 年の創業時より、MVNO 事業モデルを生み出し、一貫して推進し、2008 年には NTT ドコモとの間で、世界で初めて携帯網の開放を実現させた MVNO 事業の先駆者です。携帯網開放からわずか 2 年の間で、日本において MVNO 事業を立ち上げた企業は、大企業やその部門や子会社、あるいはベンチャー企業を含め、既に 70 社を超えと言われ、まさにモバイル・ネットワークを活用した次世代インターネットを事業機会と捉えた参入が急加速しています。しかしながら、ベンチャーキャピタルが出資し、貢献しているケースはほとんど存在していません。

アント・キャピタルの代表取締役会長兼社長である尾崎一法氏は、次のように述べています。

「当社は主にリードインベスターの立場から、成長性の高いベンチャー企業を対象に投資・経営支援を実施しています。MVNO は、グローバルに通用し、産業をリードするベンチャー企業の発掘、育成ができる分野として大いに期待しています。」

このような背景のもと、日本通信は、今後 MVNO、そして次世代インターネットを目指すベンチャー企業の支援を強化することとしたアント・キャピタルと、MVNO ベンチャー支援において協業していきます。

日本通信の創業者であり、代表取締役社長である三田聖二は、次のように述べています。

「固定網の開放はまず米国で始まり、インターネットは米国で育ちました。そしてインターネットによって、Google やヤフー、マイクロソフトなど、米国、特にシリコンバレーを拠点とする企業が急成長しました。現在の日本は、新規事業の創出によって、成長戦略を描くことが大きな課題となっていますが、日本が世界に先駆けて既に実現した携帯電話網の開放は、新規事業創出の最大の柱になりうるものです。」

日本通信は、MVNO の先駆者として、また MVNO を支援する MVNE 事業の一貫として、ベンチャーキャピタルであるアント・キャピタルとの協業を通じ、MVNO ベンチャーの支援に取り組んでまいります。

以上

■アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 会社概要

社名： アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
代表者： 尾崎 一法（代表取締役会長兼社長）
設立： 2000 年 10 月 23 日
主要株主： 農林中央金庫、三菱商事株式会社、役職員
事業内容： 未公開株式等への投資業務、および投資事業組合の運営管理業務

■日本通信株式会社 会社概要

社名： 日本通信株式会社（大証ヘラクレス市場：9424）
代表者： 三田 聖二（代表取締役社長）
設立： 1996 年 5 月 24 日
事業内容： ●MVNO のパイオニアとして、MVNE および MVNO 事業を展開
●インフィニティケアの名称で法人向けデータ通信サービスを End to End で提供
●b モバイルの名称でインターネット接続商品を提供
●通信電池のコンセプトで機器組み込み型通信サービスを提供
●MVNO 向けに、モバイル・ネットワーク、技術、ノウハウ等を提供

*インフィニティケア、b モバイル及び通信電池は日本通信株式会社の登録商標です。文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。*記載されている内容は、発表日時点の情報です。